

鉄道旅行研究部 活動報告

令和7年6月8日(日) 部員企画 宇都宮旅行

1. 目的

新規開業した宇都宮ライトレールに乗車する。
また、大谷地区を観光して石材産業や石仏について理解を深める。

2. 旅程

主な旅程の内容

往路	武蔵小杉駅出発 湘南新宿ラインで移動 宇都宮駅到着
路面電車 乗車体験	宇都宮駅東口～飛山城跡 往復
昼食	ご当地グルメ：宇都宮餃子 「宇都宮みんな」
大谷地区 観光	大谷資料館 大谷観音
復路	宇都宮駅出発 上野東京ラインで移動 川崎駅到着

3. 本文

とある部員の「宇都宮ライトレールに乗ってみたい」という一言から、今回の旅行計画が始まった。ただライトレールに乗るだけでは、「旅行」とは言いがたい。そこで、地域の魅力にも触れられるような内容を盛り込み、より充実した旅を部員全員で企画することにした。

今回の旅行では、日本で最も新しい路面電車である「宇都宮ライトレール」の見学をはじめ、ご当地グルメ「宇都宮餃子」の堪能、日本最古の石仏「大谷観音」の拝観を目的とした。

川崎市内から栃木県の宇都宮駅へは、乗り換えなしで行ける列車が多数運行されている。今回は集合場所の都合もあり、湘南新宿ラインを利用して移動することにした。約2時間の乗車を経て、日光観光の玄関口でもある宇都宮駅に到着した。

まず、日本で最も新しい路面電車「宇都宮ライトレール」へ乗車した。このライトレールは、路面電車としては珍しく、高架橋で鬼怒川を渡っている。また、途中に設けられた高架停留所「飛山城跡」は、全国的にも珍しい構造である。今回はこの「飛山城跡」で下車し、周辺を見学した後、再びライトレールに乗りし宇都宮駅へと戻った。



鬼怒川を渡る路面電車

昼食には、宇都宮のご当地グルメ「宇都宮餃子」を味わった。訪れたのは、餃子専門店として有名な「宇都宮みんな」である。メニューは餃子と白ごはんなど、非常にシンプルな構成となっており、餃子一本で勝負する専門店としての自信が感じられた。



宇都宮餃子(焼き・揚げ)

次に、バスで30分ほど移動し、大谷石で有名な大谷地区へ向かった。最初に見学したのは「大谷資料館」である。ここは地下に広がる採掘場の跡地にあり、大谷石およびその採掘の歴史について学ぶことができる施設である。

館内は非常に広く、天井付近に残る手掘り時代

の跡や下部の機械掘りへと移行していった過程や、当時の採掘技術の工夫などを感じることができた。また、当日の外気温は 30 度近くあったが、資料館内は約 10 度と非常に涼しく、その温度差には思わず驚いた。



壮大な採掘場

大谷といえば、日本最古の石仏「大谷観音」を思い浮かべる人も多いだろう。今回は、その大谷観音が鎮座する大谷寺を訪れた。大谷資料館からは徒歩 10 分ほどの場所に位置している。

高さ 4 メートルの「大谷観音（大谷寺本尊千手観音）」は、平安時代の 810 年に弘法大師によって彫られたと伝えられている。その荘厳な姿からは、深い歴史と当時の信仰の重みを感じ取ることができた。また、境内には「宝物館」と呼ばれる資料館も併設されており、大谷寺の歴史や文化についてもより深く知ることができた。



大谷寺

帰りのバス停へ向かう途中、高さ 27 メートルの巨大な観音像を拝観した。「平和観音」として親しまれており、脇に設置された階段を登れば、観音像が見守る大谷の町並みを一望できるようだ。バスの時刻の都合により、今回は登ることができなかった。



平和観音と展望台

バス停までのルートをよく見ると、左右に石壁が高くそびえ立っていた。この光景には、どこか違和感を覚えた。そう、ここはかつて山であった。しかし、大谷石の採掘によって山が削られ、現在のような開けた景観が生まれたのだと気づき驚いた。



元々山だった場所

ちなみに、大谷地区では現在も採掘が続けられており、その採掘場は特撮ヒーロー番組の戦闘シーンなどの撮影地としてもしばしば使用されている。

大谷の歴史と自然の変遷に触れられる、非常に貴重な場所である。興味を持った読者は、このルポを参考に、ぜひ現地を訪れてみてほしい。